

高浜中学校だより

平成 30 年 7 月号 NO.4

連日、35 度を超える猛暑日が続いています。まだしばらくは続くだろうという気象庁の予報です。

さて、このような猛暑日の中、先日、若狭地区の中体連の競技が行われました。結果の詳細は高浜中学校のブログ (7.17) でお知らせしたとおり、団体では、優勝 1 チーム、準優勝 4 チーム、個人で県大会に出場する選手は、卓球、剣道、ソフトテニスで 15 名でした。また、水泳競技では 4 名の選手が北信越大会への出場が決まりました。県大会に出場するチームは、さらなる高みをめざして全力を尽くしてほしいと思います。「自分を信じ、仲間を信じ」で高中生として悔いのない戦いをしてください。

惜しくも県大会への出場を逃した選手のみなさんも、仲間のすばらしさや努力することの大切など、今までの部活動で得たものがあるはずです。そこで学んだことを今後の人生に活かしてほしいと思います。



地道な努力をおしまない生徒

「めざす生徒像」の 3 つ目について書かせていただきます。「地道な努力をおしまない」とは、例えば、部活動で毎日走ることを怠らない、球拾いを腐らせずにやるなどです。学習でいえば、数学の問題をわからないと決めつけてやめるのではなく、1 問でもいいから最後までやり通すことです。これらはどれも「地味」です。そして、あまり楽しいものでもありません。しかしそれを「継続」することで、部活動や学習に向かう力と確実な技や学力が身に付くと思います。更には、忍耐力や人に対する思いやりの心も育つと思っています。地味で辛いことを継続するその先には、困難にぶつかっても、それに立ち向かう姿勢が培われると考えます。今後の社会は、予測困難なことや今までの価値観では解決できない時代へと入ってきます。その中をたくましく生き抜くその基礎を身に付けることは、教育において決しておろそかにしてはならないと思います。

「あせらず、やすまず、あきらめず」

このような願いを「地道な努力をおしまない生徒」に込めています。

「ふくいっ子体カアップ大作戦」

「北陸電カブ
ルーサンダー」
から4名の指導
者に来ていただ
き、3年生にハ



ンドボール投げの指導をしていただきました。生徒達は、短時間ではありましたが、ボール投げのコツをつかんだようです。

(7月5日)

「税金教室」



毎年、3年生を
対象に「税金教
室」を、役場税務
課の職員を講師に

招いて行っています。3年生の社会科で

「税金」について学習しますが、その学習を更に深めるために専門家からのお話を聞きしました。(7月10日)

「西日本豪雨募金活動」

7月上旬、西日本
を中心に甚大な被害
をもたらした豪雨。
この災害に自分たち



にできることはということで、生徒会で募金活動を行いました。(7月12・13日)

日本近代文学作品を読もう

夏目漱石、芥川龍之介、太宰治、田山花袋、志賀直哉、国木田独步、武者小路実篤……。さて、生徒のみなさんは日本の明治・大正時代の日本を代表する作家の作品をどれだけ読みましたか?図書館担当の先生に聞きますと、多くの生徒のみなさんが本を読んでいると聞いています。とても素晴らしいことです。でも、今一度、自分が読んでいるジャンルを振り返ってみてください。偏ってはいませんか?もちろん偏っていても決してわるいことではありません。本は、自分の楽しみで読んでも何ら問題ではありません。

読書は、その人の人生を豊かに生きる上でとても大きな影響を及ぼすといわれています。その中でも特に中学生や高校生の時期にどれくらい読書をするかが大切だといわれています。この時期に、自分の読書のジャンルの幅を広げてみてください。その中に、明治・大正期の著名な文学作品を入れてみてください。

長い夏休み、ゲームやスマホをする時間を少し近代文学作品を読む時間に充ててみてはどうでしょうか。少し漢字が難しかったり、描写がその時代背景を表していたりして読みづらいかもしれません。でも、あきらめずに読破してください。